



2学期が始まり、約1か月が過ぎました。3年次生は、就職・進学に向けて忙しい日々を送っています。今年は大変な猛暑が続きましたが、暑さもようやく収まり、読書にふさわしい季節になってきました。

今年度は昨年度と比べて7月の貸出が増えました。昼休みや放課後、川高図書館で学習する人も見かけます。これからも積極的に図書館を利用してください。



【新任の先生より】

『教育が変われば、社会が変わる』(崎谷 実穂 著)

理科 浅野 迅矢 先生



皆さんは現在の社会のことをどう思っていますか？昭和、平成初期と比べると加速度的に技術が進歩し、それに伴い、多くの問題や課題が発生しています。この、将来の予測が難しく、技術の進歩と社会の変化の釣り合いが取れていない状況はどうすれば変わるのでしょうか？そんな問いの答えの1つを紹介してくれているのがこの本です。少し難しいふうには書きましたが、【教育】というものについての本を読んでみて、これからの生活や勉強などについて考える時間をとってみてはどうかという、お誘いです。

この本の中では現在の社会を「VUCAの時代」(Volatility, 変動性、Uncertainty, 不確実性、Complexity, 複雑性、Ambiguity, 曖昧性)と呼び、不確定で正解がない時代の問題を解決するためには、未来を切り開く人材を育てることが大切であると述べられています。つまり【教育が社会を変える】ということです。

私はこの本を読み、自身の教育に対する考え方や、教員としての考え方に変化がありました。読み手により、変化は異なると思います。皆さんにどのような変化があるかは分かりませんが、きっと未来を良くしていくものです。自身の大切にしたいものや将来についてゆっくり考えて、これからの未来を「そうぞう」しませんか？図書館にありますので是非読んでみてください。そして、変化を浅野に教えてくれたら嬉しいです。お待ちしております。結びに、忙しい高校生活ですが、大きな変化ができるのも今です。様々なことを楽しんでください。



〔図書紹介〕

『実は科学的!? 江戸時代の生活百景』(西田 知己 著)



電気もガスもなかった、江戸時代の人たちの暮らし。それでも彼らは、より豊かな生活を送るために、毎日知恵を絞っていました。この本では江戸時代の生活が5つのテーマに分類され、例えば第一章「動物の暮らし」では、「犬には飼い主がいたの?」のような現代人の疑問から出発するという体裁になっています。あなたの知的好奇心を満たせるかもしれませんよ。

『パン語辞典 第2版: パンにまつわることばをイラストと豆知識でおいしく読み解く』

(ぱんとたまねぎ 著)

パンを食べているときはもちろん、食べていない時もパンをもっと楽しみたい。食べるだけの「パン」だけではなく、見たり聞いたり学んだり、時には個人的見解を交えながら、多方面から「パン」について分析しています。著者、ぱんとたまねぎ氏による描き下ろしイラストをふんだんにちりばめ、どこまでも深いパンの魅力をほどよく掘り下げて紹介します。



〔7月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

7月1日～7月31日

1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
24冊	18冊	14冊	18冊	10冊	9冊	8冊	3冊	104冊

〈個人別〉

- 1位 8冊 清水 美愛 (3-1)
- 1位 8冊 清水 英磨 (3-2)
- 3位 5冊 成田 春陽 (1-1)
- 3位 5冊 濱本 詩音 (1-1)



良書を初めて読むときは、新しい友を得たようである。
前に精読した書物を読みなおす時は、旧友に会うのと似ている。

オリヴァー・ゴールドスミス
(イギリスの詩人・小説家/1728? -1774)

